

そうか!やってみよう

## サナギ、ゴムみたいになる 学校法人水谷学園 北陵幼稚園

[4歳児]

<事前の様子> 部屋の隅の飼育ケースを不思議そうに見ていた数名の子が、中に何が入っているのか保育者に聞いたことをきっかけに、保育者とクイズ形式のやりとりを楽しみ、中にいるのはカブトムシとわかる。子どもから話題になったので、この機会に、糞を取り出して土を替えることを提案する。「ウンチを換えるのは嫌だな」と、保育者の作業をじっと見ている。「気持ち悪い…」「カブトムシじゃないよ。だって角がないが…」「怖くないの…」と言って見ていたが、保育者の動きや言葉から次第に興味が出て触るようになり土を替えた。

	子どもの姿と保育者のかかわり	読み取り
観察・発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生、大変。ウンチがいっぱいになってる」「ウンチの中はかわいそうだ」と気付いた子どもたちは、フルイを持ち出すなど土を替える言動が出る。</li> <li>・飼育ケースの土をフルイにかけて、糞と土に分けて集める。みんなで協力して分けるので前回より数段時間が早い。</li> <li>・糞は茶色いことに気付き、「土の栄養を食べているからだ」と話題になる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 以前、土を替えた経験により、「糞を取り、土を変えないと幼虫がかわいそうだ」ということが4歳児なりに関心事になり、糞でいっぱいになったことを大変なこととして知らせる言動につながった。よく観察をしていたことがわかる。</li> </ul>
感じる・疑問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B児が「いっぱいご飯を食べて一番でかい!」「これお父さん、これお母さん、これ赤ちゃん…」と大きい順番に並べる。C児は(当初怖がっていた)大きい幼虫と小さい幼虫を重ねて「お餅だ!」と言う。すると、D児「あんまりカブトを触ると死ぬよ。お兄ちゃんが言った」と言う。保育者が「そうね まだ赤ちゃんだからね」とD児の言葉が伝わるように受け止める。</li> <li>・D児が「あんまり触らんで…寝せてあげて」と言うと、F児「いっぱい寝たらいつ目が覚める?」と問いかける。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 幼虫に触れるようになり、自分の思うままに触ることで特徴を感じている。そこでD児が「触らずに寝かせる」と提案したことから、新たな疑問をもつ。どう考えたらよいかわからず、そのままになる。</li> </ul>
観察・疑問・納得・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生…ここ見て…変だよ…」とE児が言う。G児も別のケースを見つけて「これも変だよ…見て」とカブトムシの変化に気付き話す。保育者が「何が変わったの?」と尋ねると、G児「だって…こんな所に今までいなかったよ」E児「いつも泥の中にいたでしょ…」と話す。</li> <li>・保育者が図鑑を読み「冬を越し、初夏を迎える頃、成長しきった幼虫は、周りの土を固めて部屋を作ります…」と言うと、F児は身を乗り出して「これだ!部屋を作るんだ!」と感嘆の声をあげる。E児「家を作るんだ…」と言う。</li> <li>・A児は「サナギ、ゴムみたいになるんでよ…」と言いながら、カブトムシの幼虫の絵を描く。楽しそうに友達を誘う。</li> <li>・少しずつ幼虫の家が増えていく。C児「先生 大変!洋服脱いだ?」と幼虫の脱皮を発見する。C児「ほら、カサカサになってる」と言うので、保育者が「そうだね 大きくなったんだね…嬉しいね」と受け止める。「みんなに見せてあげる…カブトが洋服脱いだよ。僕が発見したもん…」「洋服脱いだ!洋服脱いだ!大きくなった!みんな見て!」心から喜んで伝える。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自分たちで糞の土を換えたことで、さらにカブトムシの幼虫や飼育箱の中の様子を観るようになってくる。</li> <li>* 話だけでは難しいために、絵を見ながら話せば子どもたちの興味がより増してくると思え、ここで初めて図鑑を見る。</li> <li>* 脱皮や家作りの会話やつぶやきを聞いてみると、虫を気にかけて少しの変化に直ぐに気付く様子が把握できる。</li> </ul>

### 考察

「なぜ?」「不思議だ」と探究心をもって取り組んだこの実践から、環境との出会いが子どもたちの心を大きく揺さぶることがわかった。

### ポイント

子どもたちがクイズ形式のやりとりによってカブトムシの幼虫の存在を知ったことで、知っている成虫とは違う幼虫の姿に様々な印象をもち興味を深めたり、「土と糞を分けて土を替える」世話をすることに関心をもったりしています。こうして心を動かしながら世話や観察を重ねたことで、サナギになった感動や発見を表す表現活動に結び付き、細やかな生き生きとした表現力が引き出されています。